神栖市自転車活用推進計画(案)へのパブリックコメント及び対応方針

主な意見と市の考え方

1. 意見募集期間

令和2年1月31日(金)～3月2日(月)

2. 意見提出者数及び意見等件数

提出者数 5名

意見等件数 19件

3. 意見の内容と市の考え方(意見の内容については、要約して掲載しています。)

No.	意見の内容	市の考え方
1	レジャー以外の利用で、生活用または通勤用での提案です。 スマホのアプリで利用できるシェアサイクルがあると、メンテナンスが不要になり、近隣拠点での乗り捨てなどできるので、急な天候の変化などに対応できるので便利だと思います。 例メルチャリ(https://merchari.bike/)	令和元年10月1日につくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会にて実施している「広域レンタサイクル」の貸出・返却拠点のひとつとして鹿島セントラルホテルを位置づけておりますので、まずは、こちらをご利用いただきますようお願いいたします。
2	私は時々自転車で港公園方向へいきます。車道は大型トラックが歩道スレスレを走っておりますので安全のため歩道上を走ります。 しかし一部の歩道には、縁石にスロープ部分がなく、危険な段差となっています。注意が必要ですが、週末にはサイクリング客と思われる人が歩道上を軽快に走る姿を見かけることもあります。また、今後増加するシニア世代の行楽やウォーキングのためにも、スロープ部分があると良いと思います。 この機会に、この地域の歩道を調査し、スロープ箇所を作って頂きたいと思います。	今後、本計画に基づき、自転車が安全・快適に走行できるよう整備を進めてまいります。
3	アンケートが行われましたが、質問のしかたが悪く、本来回答すべき質問に回答できませんでした。アンケートの提出も1週間と短く、アンケートの信頼性が低いように思います。	貴重なご意見ありがとうございます。ご意見を参考に、今後改善してまいります。
4	P3-11、事業者メリットで、豊橋市役所で自転車通勤により年間450万円の通勤費削減とあります。企業だけでなく、まず神栖市が率先して見本をみせるべきだと	貴重なご意見ありがとうございます。今後、市職員に対しても自転車の積極的な利用を促進してまいります。

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>思います。神栖市では近距離の仕事は自転車を利用するとしていますが、利用されたところをみたことはありません。</p>	
5	<p>高速バス乗り場のセントラルホテルは自転車置き場が常陽銀行周りだけで、いつも止める場所は満杯です。</p>	<p>6-6 ページにあるとおり、まちなか等における駐輪場の整備に向け、関係機関と調整を進めてまいります。</p>
6	<p>P6-7、生活道路でゾーン 30(時速 30km 速度規制)は原付バイクと同じ速さになります。危ないのではないですか。</p>	<p>警視庁交通局の資料「ゾーン30の概要」によると、自動車と歩行者が衝突した場合、自動車の速度が時速 30 キロを超えると歩行者の致死率が急激に上昇することから 30km 以下への抑制とすることとしたとのことです。またゾーン 30 の設置実績に関しては、整備後、歩行者自転車事故が 19.4%減少したとの資料も公表されております。整備にあたりましては、慎重に検討いたします。</p>
7	<p>P6-36 の指標では、自転車通行空間の整備延長目標が設定されていますが、現在の幅員で実際に実施できるのでしょうか。市道では路肩が広い場所もありますが、交差点付近は右折ラインが設けられ、路肩が狭くなっています。部分的に整備しても意味がありません。国道124号線の一部に路肩が広い場所がありますが、2～3km 程度です。国道124号線の生活道路部分に方向指定の自転車道を作ると、近くに行くにも遠回りしなければならなくなり、不便になります。</p>	<p>道路の幅員が狭い場所は、矢羽根という自転車通行位置を明示する道路標示による対応が考えられますが、詳細な整備形態につきましては、安全・快適に走行できることを前提に、今後、検討してまいります。7-22にページに示す整備方法は例であるため、整備にあたりましては、慎重に検討いたします。</p>
8	<p>常陸利根リバーサイドサイクリングロードの整備は、小見川の道路横断方法の検討が必要と思います。(信号機・地下道)</p>	<p>常陸利根リバーサイドサイクリングロードの息栖大橋前の道路と交差する箇所については、周辺の道路状況を勘案し安全性が確保できるような整備形態や誘導を検討してまいります。</p>
9	<p>他県から移り住み 18 年になります。当初は、すぐに車のエンジンをかける神栖の暮らしに困惑しました。二人の子どもも成長し、再び自転車を生活に利用できるようになりました。買い物は利便性の高い車を多く利用します。距離もある方も多くいらっしゃいます。公共交通機関、特に電車を利用しない生活ですので、階段を昇る機会も少ないです。平坦な土地なので、坂も登りません。仕事を通して多くの方と出会いますが、脚力の低下に警鐘を鳴らしたいと思います。レジャーとしての自転車の活用が広がることは楽しいことだと思います。神之池と中央公園を自転車で移動するようなイベントがあってもいいのでは。日常的になると街に活気が出るかもしれ</p>	<p>イベントに関しては、自転車の利用促進を図る上で検討してまいります。</p> <p>市内一下総橋駅間の通勤・通学向けのバス運行とサイクルアンドバスライド向けの駐輪場の確保につきましては、公共交通整備事業において具体的に検討しております。</p> <p>今後とも自転車の利用促進にご協力をお願いいたします。</p>

No.	意見の内容	市の考え方
	<p>ません。毎日子供を駅まで送っていますが、通勤通学向けに逆水門～下総橋のバス運行と、逆水門辺りの駐輪場(無料)完備のバス停があれば親は助かります。日常的にガソリンを使うことを控える意識があれば、自転車の利用につながるのではないかと思います。家電の発展で女性が家事に費やす時間が短くなりました。その時間を仕事に当てるようになり、反って忙しくなったのではないのでしょうか。健康長寿を目指すなら若いうちから努めて動く努力をすることが大切な時代となっていると、出会った人には伝えていきます。その1つの手段として、生活の中で自転車を利用するようになればいいと思います。</p>	
10	いざというときの避難場所になるような休憩施設の設置	6-17ページに記載のとおり自転車ネットワーク路線や支線コースなどに休憩施設やベンチ、広場などの整備を検討いたします。
11	自転車で立ち寄りたくなるような場所にカフェの設置	6-17ページに記載のとおり自転車ネットワーク路線や支線コースなどに休憩施設やベンチ、広場などの整備を検討いたします。
12	トイレの設置	6-17 ページに記載のとおり自転車ネットワーク路線や支線コースなどに休憩施設やベンチ、広場などの整備を検討いたします。
13	自転車トラブルがあったときにレスキューしてもらえるような環境整備(自転車店などに協力を求める。)	6-20 ページに記載のサイクルサポートステーションを拡充するなど、自転車利用者をサポートする環境作りを進めます。
14	パンク修理の講習	6-13 ページに記載のとおり、サイクリングイベントの一環としてパンク修理の講習会等の開催を検討します。
15	角が危ないため、事故をなくすための環境整備	6-15 ページに記載のとおり、危険箇所における注意喚起の案内表示看板を整備するなどにより、安全・安心・快適な自転車の通行空間を整備してまいります。
16	国内外の情報発信…東京で「自転車好きな寿司屋」として有名になったところ自転車が盛んなフランスの客が増えた。	6-15 ページに記載のとおり、各種媒体を利用して国内外へ情報発信します。
17	技術革新により、レーダーやレーザースキャナー(ライダー)で交差点の危険を感知するような技術などが開発されていると聞く。将来的な技術進歩も考慮に入れて、計画に盛り込んでみてはどうか。	6-3 ページに記載している自転車通行空間を整備する際に、最新技術を取り入れることを検討します。

No.	意見の内容	市の考え方
18	対面走行ができる自転車レーンの設置	道路の利便性・安全性を考慮し、茨城県警や道路管理者等の関係機関と調整して、検討してまいります。
19	街灯がなくても安心な光る自転車道路の設置	市民等からは、街灯の整備についての要望があることから、まずは街灯の整備を進めてまいります。